

「佐藤慶太郎基金」

助成対象活動の募集のお知らせ

文化振興や社会福祉に関する活動を助成します

上限**10万円**

若松で石炭商を営み、築いた私財のほとんどを芸術文化の振興や、国民の生活改善に投じた佐藤慶太郎氏の遺志を継いで、文化振興や社会福祉に関する活動等を実施する団体へ助成を行います。下記に留意のうえ、奮ってご応募下さい。



1. 助成の対象

若松区内で活動している「団体」に限ります(個人の応募はできません)。

2. 助成額

助成額は活動に要する経費で**10万円**を上限とします。

3. 助成団体

助成団体は**5団体以内**とします。(助成団体は審査により決定いたします。)

4. 助成の対象となる活動

- (1)文化振興や社会福祉に関する活動
- (2)まちづくりや地域コミュニティの促進等に関する活動
- (3)環境・国際交流等に関する活動

詳細については、ひびきボランティアの会事務局へお問い合わせ下さい。

※令和8年4月から令和9年2月末までの期間内に実施されるものを助成の対象とします。

【募集期間(申込期間)】

令和8年2月2日(月)~2月20日(金)まで

提出先

ひびきボランティアの会事務局(若松区役所3階・総務企画課内)へ、所定の書類を提出してください。

問合せ先

ひびきボランティアの会事務局(若松区役所総務企画課内)

Tel:093-761-4045 Fax:093-761-4975

助成金申請の事務手続

1. 活動計画書の作成・提出

助成金の申請団体は、募集期間内に文化活動等助成金交付申請書(様式1)、活動計画書(様式2)、収支予算計画書(様式3)、団体の構成員名簿(様式4)を作成し、ひびきボランティアの会事務局(若松区役所3階・総務企画課内)に提出してください。

様式はひびきボランティアの会事務局(若松区役所3階・総務企画課内)にあります。

また、北九州市ホームページにて、様式のデータ(Word,Excel)と交付要領のPDFがダウンロードできます(『佐藤慶太郎基金』と検索してください)。

2. 助成金交付団体の決定

募集期間終了後、各団体から提出された申請書をもとに、活動計画書等の内容を審査します。審査結果については、若松区ボランティア連絡協議会から各団体に文書で通知します。

3. その後の手続き

助成金の交付決定を受けた団体に対しては、若松区ボランティア連絡協議会から助成金を受けるに当たっての留意事項について説明します。

その他、不明な点は、ひびきボランティアの会へお問合せ下さい。

その他の留意事項

- ① 営利を目的とした団体、特定の政党若しくは宗教等に関係のある団体は、募集の対象から除きます。
- ② 北九州市及び北九州市の外郭団体から補助金等の交付を受けている活動、営利を目的とした活動、政治的な活動、宗教的な活動、食糧費、助成団体スタッフに対する謝金等の一部経費は除きます。
- ③ 同一年度における同一団体の申請は、1件とします。
- ④ 助成金の交付は、同一団体に対して2回限りとします。

佐藤慶太郎氏の業績

明治元年	遠賀郡陣の原に生まれる。
明治41年	炭鉱経営に乗り出し、事業経営の一方、学生への学資援助や無料産院の設置、市立病院への病理研究室の寄付などを行う。
大正10年	東京府美術館の建設費用100万円(現在の価値で33億円)を寄付する。
大正11年	医学博士野口雄三郎(バセドー氏病の世界的権威)のために16万円を投じて別府に病院を建設。
大正13年	10万円を投じて財団法人若松救療会(貧しくて医薬が買えない人への救済の会)を設立。
昭和5年	福岡農士学校建設資金寄付集めに奔走し、自らも5万円を寄付する。
昭和9年	高塔山ふもとの邸宅を寄付。この場所が現在の佐藤公園である。 ※ 平成21年6月に佐藤慶太郎氏の胸像を建立。
昭和10年	150万円の私財を投じて佐藤新興生活館という組織を立ち上げ、国民の生活文化改善の取り組みを始める。
昭和15年	数え73歳で死去 遺言に従い、全遺産180万円が次のように使われる。 <食糧協会経営食糧学校建築費、別府市美術館建築費、別府市体育館建築費 九州帝国大学国防工学研究所建築費、財団法人佐藤育英財団創立>